

報道関係各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

滋賀大学との「連携協定」締結のお知らせ

～同大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センターと連携し、 高度データサイエンス人材の育成と新たな顧客価値創造を推進～

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:荒木直也、以下 H2O)は、10 月 27 日、国立大学法人滋賀大学のデータサイエンス・AI イノベーション研究推進センター(本部:滋賀県彦根市、センター長:深谷良治、以下 滋賀大学 DS・AI センター)^{※1}と「連携協定」を締結しました。

2022 年から両者は、H2O が保有するデータを活用し、顧客行動の分析を通じて、マーケティングや事業開発に役立つ研究を推進してまいりました。本協定はこれまでの取り組みをさらに深化させるために、同大学彦根キャンパス内に共同研究等産学連携拠点を設置し、共同研究やインターンシップなどを通じて、データに基づいた新たな顧客価値の創造と、それを担う実践的な高度データサイエンス人材の育成に向けた産学連携をより一層加速させてまいります。

※1 データサイエンス・AI イノベーション研究推進センターは、日本でデータサイエンス分野を牽引する滋賀大学において、データサイエンスと AI の『先端研究』と『社会実装』を推進する全学の中核的な研究所です。



左:H2O 常務執行役員 渡邊学
右:滋賀大学 DS・AI センター長 深谷良治



2025 年 4 月にオープンした産官学連携拠点である
「イニシアティブ棟」

【本協定の目的】

H2O と滋賀大学 DS・AI センターが相互に連携協力し、データサイエンスを通じて生活者理解を深化させ、顧客一人ひとりのニーズに応える新たな価値を創出することを目指します。あわせて、データ解析から得られる知見や示唆を事業価値の創造につなげられる人材の育成に寄与することを目的とします。

【本協定の内容】

本協定における主な連携事項は以下のとおりです。

- (1) 両者が有する知的資源、人材を活用した共同研究に関すること。
- (2) データサイエンス人材の育成を目的としたインターンシップ及び採用連携^{※2}に関すること。
- (3) 産学連携拠点「イニシアティブ棟」^{※3}の活用をはじめとする、産学連携の推進に関すること。

※2 現時点では、新卒採用はグループ会社(株式会社阪急阪神百貨店)にて行います。

※3「イニシアティブ棟」は DS・AI の産官学連携拠点として、滋賀大学に 2025 年 4 月オープン。Society 5.0 社会の実現に向け、研究者・企業・学生が集うオープンイノベーションの場を提供し、共創インキュベーションによる未来社会の創造を推進します。

【締結後の具体的な取り組み内容】

本協定における主な取り組み内容は以下のとおりです。

(1) 共同研究の推進

百貨店や食品スーパーの ID-POS データ、自社開発アプリの行動データなどを活用し、顧客体験価値の向上やパーソナライゼーションの実現、及び BtoB データビジネス開発に資する課題解決型の共同研究を実施します。

(2) 実践的人材の育成

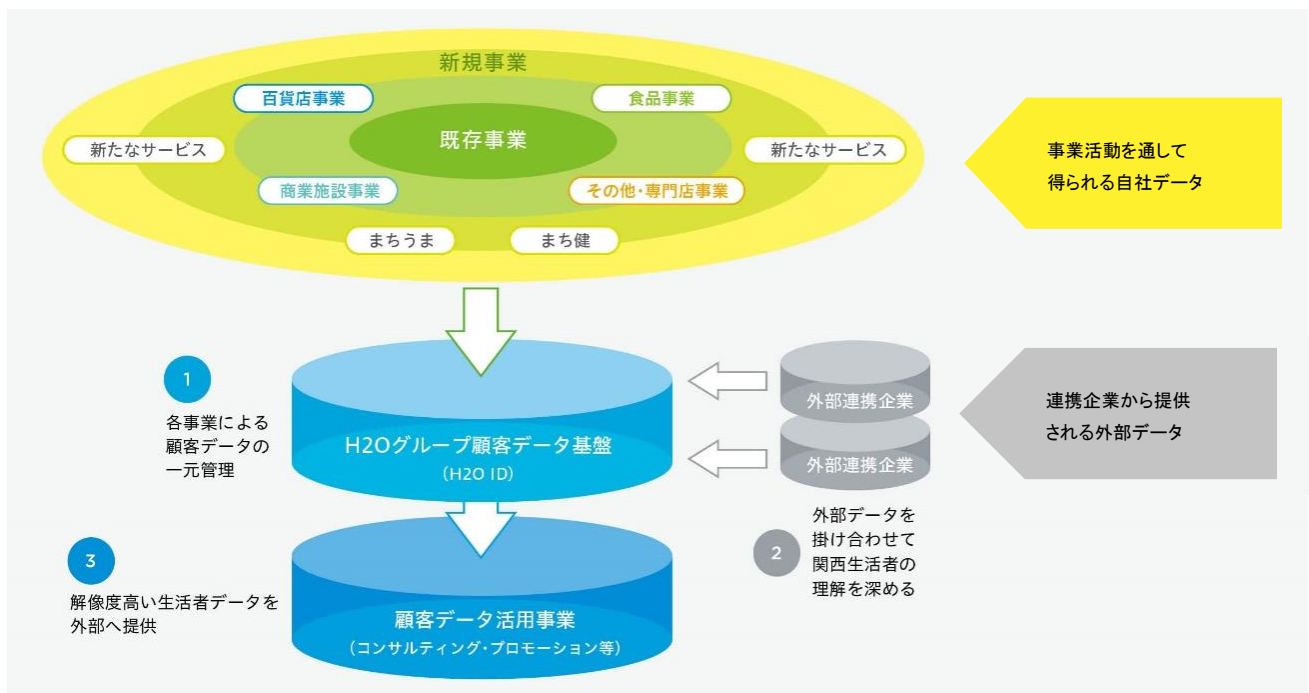
データサイエンスの専門知識に加え、ビジネス課題を戦略的に解決する力と、生活者のインサイトを深く洞察する力を持つ高度データサイエンス人材の育成を目的としたリスキリング教育やインターンシップ受け入れ、採用連携などを行います。

(3) 産学連携拠点「イニシアティブ棟」の活用

滋賀大学「イニシアティブ棟」の未来創生フロア(1 階)及びコワーキングスペース(2 階)を拠点として活用し、両者の連携をさらに強化します。

【当社のねらい】

H2O は、中期経営計画(2024-2026 年度)において、新たな収益源となる顧客データを活用したビジネス展開を掲げています。具体的には、百貨店や食品スーパー等の事業活動における顧客とのさまざまな接点に加え、食サービス、健康サービスをはじめとするアプリを使った新たなサービス事業から得られる多角的でアクティブな顧客データを活かしたビジネスを想定しています。H2O の持つ豊富な顧客データを、滋賀大学 DS・AI センターと共に学術的な観点から深く分析することで、生活者への理解を深め、データから新たな顧客価値を創造できる人材の育成につなげます。



本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181